

祭礼絵巻

知多市・尾張八幡神社蔵

愛知県知多市の尾張八幡神社の祭礼を描いた絵巻。《乙川村祭礼山車絵巻》同様、本図も宝暦五年（一七五五）、尾張藩の命により作成された。同時期に記録された祭礼であるが、本図の山車は名古屋型に近い特徴をもつ。
名古屋型は、二層構造で唐破風の屋根を細い四本の柱が支え、その中からくり人形がのせられている。そして、正面には一段下がった棚があり、そこにも采振りなどの前人形を持つ。車輪は一木四輪の外輪で、人を巻き込まないように格子状の輪縁があり、その上に地面と平行して楯棒が付けられている。

